

武庫庄



令和7年1月8日

笑う門には福来たる!!

新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、健やかに初春をお迎
えのこととお慶び申し上げます。

本年も教職員一同力を合わせ、よい一年としていきたいと思ひます。

新学期、子ども達は元気に初日を迎えました。新たな目標を立てた晴れやかな子ども達の表情は、こちらまでやる気にさせてくれます。このまま子ども達が元気に楽しく学校生活を送るために大切なことは、しっかり栄養をとることはもちろん、睡眠時間をたっぷりとること、手洗い・うがい・換気を欠かさずにとること、そしてたくさん遊び、たくさん笑うことです。

子ども達の笑顔は、何物にも代えがたい宝物です。

保護者の皆様も、これまでの子育ての中で、何度も子どもの笑顔に幸せを感じたり励まされたり癒やされたり救われたりしてきたのではないのでしょうか。

人間は、生まれながらに笑顔を見せます。これは、「新生児微笑」と言い「笑顔を見せることで周りがさらに優しく接してくれる」という、赤ちゃんの本能的な自己防衛手段だそうです。笑顔の力については医学的にも研究が進み、「ストレスの改善」「免疫力アップ」「アレルギー改善」「潜在能力を引き出す」「病気改善」など、多くの効果があるのだそうです。これらの効果を知ると自分のために笑顔は大切だと分かりますが、なんといいとも一番の笑顔を生み出すのは、周りとのコミュニケーションです。

笑顔でいるときは、心が解放されています。この状態は、相手を受け入れる準備ができていくということです。優しさや思いやり、相手を包み込む感情、そして、人のために時間を使うこと、人の役に立つことの根源は、笑顔にあるのです。

学校に登校したとき、笑顔で「おはようございます」と挨拶をしてくれると、嬉しくなります。今日も一日楽しく勉強したり生活したりしてほしいと、願わずにはいられません。

それでも、子どもの喜怒哀楽は多様に変化します。ちょっとしたことで、怒ったり悲しんだり泣いたりするものです。友達とケンカをすることもあってしょう。大人から叱られて落ち込んでしまうこともあるでしょう。そんなときも、自己肯定感と折れない心を働かせて、笑顔を取り戻してほしいものです。自力で笑顔に戻れないときは、友達の力や大人の力も必要です。周囲の笑顔がその子の笑顔につながります。大事なことは、「楽しいから笑顔になる」のではなく、「笑顔でいるから楽しくなる」ということだと思います。

『笑う門には福来たる』という言葉も、「笑顔でいるから楽しくなる」ということを表しています。家でも学校でも、いつもにこやかに笑って過ごせば、自然と幸せに包まれます。そんな一年にしていきたいものです。今年もどうぞよろしくお願ひいたします

